

vRealize Network Insight 5.1 リリース ノート

vRealize Network Insight 5.1 | 2020 年 1 月 14 日 | ビルド 1578493419

各リリース ノートで、追加および更新された機能をご確認ください。

リリース ノートの概要

本リリース ノートには、次のトピックが含まれています。

- [最新情報](#)
- [製品アップグレード](#)
- [ドキュメント](#)
- [VMware 製品の互換性](#)
- [VMware MIB ファイル](#)
- [解決した問題](#)
- [既知の問題](#)

最新情報

ここでは、vRealize Network Insight 5.1 の主な機能について説明します。

VMware SD-WAN by VeloCloud®

- VMware SD-WAN 向けの分析サポートEdge、Link、Edge アプリケーションなどの VMware SD-WAN エンティティのさまざまなメトリックについて、しきい値に基づいた分析をサポート。
- SD-WAN 事前評価レポート：
 - 非 SD-WAN (Cisco ASR/ISR) 展開の WAN アップリンク/ダウンリンクの評価。
 - VeloCloud SD-WAN ソリューションの導入を決定した場合の ROI 計算、コスト削減、および推奨事項を含むレポート (PDF 形式) の生成。
 - このレポートで、現在の WAN 展開のトラフィック状況も把握できます。

アプリケーションの検出とトラブルシューティング

- NSX セキュリティ タグとセキュリティ グループをサポートする新しい「Advanced」モードを使用してアプリケーションを検出します。また、**[詳細]** タブを使用して、複数の検出方法を組み合わせることもできます。たとえば、アプリケーション名には命名規則を使用し、階層名にはタグを使用します。
- サマリ パネル：アプリケーションに関連する主要な情報（イベント、フローの数と健全性、受信/送信トラフィック、アプリケーションへのアクセス元の国、メンバー数など）の概要をアプリケーション ダッシュボードの上部に表示します。
- アプリケーションのトラブルシューティング：フィルタリングとトラブルシューティング
 - 劣化したフロー：異常な遅延が発生しているフロー。
 - 保護されていないフロー：NSX ファイアウォール ルールによって保護されていないフロー。

VMware NSX-T™

- NSX-T 展開環境の情報を迅速かつ詳細に把握できる NSX-T Manager トポロジとダッシュボード
- 追加設定の不要な新しい NSX-T イベントのサポート「[NSX-T イベント](#)」と「[システム イベント](#)」を参照してください。
- NSX-T 展開での BGP ステータスの監視

VMware Cloud™ on AWS

- VMware Cloud on AWS ダッシュボードの機能強化
 - vRealize Network Insight 検索および VMware Cloud on AWS ダッシュボードの一部として、VMware Cloud on AWS SDDC オブジェクトを導入
 - VMware Cloud on AWS SDDC リスト ビューでメタデータを強化
 - VMware Cloud on AWS SDDC ダッシュボードに追加された新しいエンティティ - VMware Cloud on AWS SDDC の概要、ネットワーク トラフィックとイベント、上位エンティティ、仮想マシンおよびホスト制限ベースのアラート
- VMware Cloud on AWS Edge ゲートウェイ ファイアウォール ルールの可視性を向上
- VMware Cloud on AWS でのプロアクティブ アラート
 - SDDC 内の仮想マシンの最大数
 - SDDC 内のホストの最大数

コンテナ

- Kubernetes サービスの情報を迅速かつ詳細に把握できる Kubernetes サービス トポロジとダッシュボード
- 追加設定の不要な新しい Kubernetes イベント

その他の機能強化

- サードパーティ：仮想マシン間のパスでの Arista HW VTEP のサポート
- サードパーティ：L3 NAT を Fortinet と併用する仮想マシン間パスのトポロジのサポート
- 最大 4 つの SNMP トラップ ターゲットのサポート
- インターネットに接続していない（エアギャップで保護された）ネットワークでの動作
- ユーザー インターフェイスからの vRealize Network Insight のパッチ適用
- クラスタ内のデータストアをまたいで構成データを分散するために、vRealize Network Insight 5.1 は PostgreSQL を Foundation DB に置き換えて構成データを格納します。その他のメリットについては、「[vRealize Network Insight のアップグレード](#)」を参照してください。移行は、vRealize Network Insight のアップグレード プロセスの一環として実行されることに注意してください。そのため、アップグレードに時間がかかる場合があります。アップグレード プロセスを開始すると、ユーザー インターフェイスでの一時的なアップグレード時間が表示されます。詳細については、「[vRealize Network Insight のアップグレード](#)」を参照してください。
- *support* および *consoleuser* のデフォルト パスワードの簡素化
- vRealize Suite Lifecycle Manager 8.0.1 パッチ 1 では、vRealize Network Insight 5.1 のインストールをサポートしています。詳細については、「[VMware vRealize Suite Lifecycle Manager 8.0.1 パッチ 1 のリリースノート](#)」を参照してください。vRealize Suite Lifecycle Manager を使用した Network Insight のインストールとアップグレードについては、『[vRealize Suite Lifecycle Manager インストール、アップグレード、および管理ガイド](#)』を参照してください。

製品アップグレード

vRealize Network Insight 5.1 は、5.0 および 4.2 バージョンからの直接アップグレードをサポートしています。

アップグレード オプションの詳細については、「[vRealize Network Insight のアップグレード](#)」セクションを参照してください。

アップグレード パスは、

https://www.vmware.com/resources/compatibility/sim/interop_matrix.php#upgrade&solution=285 に記載されています。

ドキュメント

新機能の詳細については、vRealize Network Insight のドキュメントを参照してください。

- [vRealize Network Insight のインストールアップグレード](#)
- [vRealize Network Insight の使用](#)
- [vRealize Network Insight の FAQ](#)

- [vRealize Network Insight コマンドライン インターフェイス ガイド](#)
- [vRealize Network Insight API ガイド](#)

注: vRealize Network Insight のドキュメントを使用する際には、VMware が多様性を尊重していることをご理解ください。お客様、パートナー企業、社内コミュニティとともにこの原則を推進することを目的として、当社では当社ドキュメント内のいくつかの用語を更新しました。

VMware 製品の互換性

[VMware 製品の相互運用性マトリックス](#)で、vRealize Network Insight と他の VMware 製品との互換性について説明しています。

VMware MIB ファイル

MIB の詳細については、「[MIB モジュールのリスト、名前、および SNMP OID のタイプの特定](#)」を参照してください。SNMP MIB モジュール ファイルは、ナレッジベースの記事 [KB1013445](#) からダウンロードできます。

解決した問題

- 仮想マシン間パスで、NSX-T Edge ファイアウォール ドロップ ルールが Tier-0 ルーター下にポピュレートされません。
- クラスターのセットアップ中に、「ファイアウォール ルールによってマスクされたイベント」を指定して NSX Firewall ルールを検索すると、vRealize Network Insight の検索結果に「先行するルール イベントによってマスクされた分散ファイアウォール ルール」が誤って表示されます。
- パス トポロジに、Kubernetes エンティティの DFW ファイアウォールが表示されません。
- イベントの重大度アイコンが英語以外の言語で表示されません。
- 英語以外のユーザーによる編集イベントにより、すべてのユーザーでイベントのタイトルと重大度が永続的に変更されます。
- AWS プライマリ リンクのアカウントが英語以外のロケールで機能しないことがあります。
- フロー カウントを返す、**where** 条件のないクエリを 4 日間にわたって実行すると、vRealize Network Insight にはカウントが 1,000 万を超えていてもエラー メッセージではなく正しい結果が表示されます。

- [Nexus5K] 画面には、ポート 1/1 に関する情報のみが表示されます。そのポートのトラフィックやスイッチを経由するトラフィックは表示できません。また、仮想マシン間 L2 パスのそれらのスイッチも表示できません。
- vRealize Network Insight ネットワーク オペレーション エージェント (netopa) コレクタが、各ホストの 4k トンネルでのメモリ オーバーフローが原因となってクラッシュします。
- vRealize Network Insight 5.0 にアップグレードした後、ユーザー インターフェイスにデータ ソース エラーが表示されます：問題が発生しました。サポートにお問い合わせください。
- NSX-T 2.4 を NSX-T 2.5 にアップグレードした後、vRealize Network Insight プロキシが NSX-T と通信できなくなります。次のエラー メッセージが表示されます：プロキシ仮想マシンからデータ ソースにアクセスできません。
- PAN 9.x データ ソースを vRealize Network Insight 5.0 に追加しているときに、認証情報の不足エラーが表示されます。
- CLI ツールに、コマンド インジェクションに対する脆弱性があります。
- [ピンボード名] フィールドで二重引用符を使用すると、500 エラーが表示されます。
- SSH を使用して「consoleuser」ユーザーとして vRealize Network Insight にログインすると、Python スクリプトによるユーザー入力検証が十分に行われません。これにより、サポート対象外の特定の文字列が認証され、途中でエラーが発生して終了します。
- テンプレートを使用せずに CSV 形式でデータをエクスポートすると、列が逆になります。
- 大きすぎる検索条件を使用し、フローの詳細を CSV 形式でエクスポートすると、オプションにアクセスできません。
- VAPI の健全性ステータスが次のエンドポイント警告を表示して繰り返し黄色になります。

ステータス コード 429 の HTTP 応答

- vRealize Network Insight に予期しないポジティブ アラートが表示されます。
- フロー処理が完了した後も、予期されるフロー情報が vRealize Network Insight に表示されません。
- vRealize Network Insight に、特定の ESXi ホストの NSX-T VIB データが表示されません。
- データソースの追加中に F5 との通信に失敗したことが vRealize Network Insight に示されます。

- F5 および VMware NSX® Manager™ では、denorm オブジェクトが作成されないか、削除されません。
- データセンターに問題がないにも関わらず、特定のイベント（例：論理スイッチ テーブルがホストと NSX Controller の間で一致しません）が自動的に終了しません。

既知の問題

- **New:** vRealize Network Insight 5.3 と VMware Cloud on AWS 1.12 を併用している場合、[インターネットへのパス] がポピュレートに失敗します。

この問題を回避または修正するには、VMware ナレッジベースの記事 [KB80359](#) を参照してください。

- **New:** PKS データソースのパスワードに &、(、)、|、<、>、`などの特殊文字が含まれている場合、vRealize Network Insight は Kubernetes クラスタを取得しません。
- **New:** ライセンスの計算中、vRealize Network Insight が vSAN 監視アプライアンスと HCX モビリティ エージェントを誤ってホストとして認識します。
- **New:** vSphere 7.0 および NSX-T 3.0 のリリースでは、WCP（ワークロード制御プレーン）および C-VDS が原因で、vRealize Network Insight のバージョン 5.1 および 5.2 の一部の機能が動作を停止することがあります。詳細については、ナレッジベースの記事 [KB78492](#) を参照してください。

回避策:

- バージョン 4.2 からのアップグレード時にオンライン アップグレードに関するユーザー インターフェイス通知を使用できる場合、オフライン アップグレードを実行できませんでした。
- **New:** NSX-V 用に準備された ESX ホストで、特定の条件で **PSOD**（パープル スクリーン）が表示されることがあります。そのため、vRealize Network Insight 5.1.0 では、NSX-V データ ソースに関して、仮想インフラストラクチャの遅延の収集が無効になります。詳細については、[ナレッジベースの記事 KB75224](#) を参照してください。

注: NSX-T バージョンへの影響はありません。

- **New:** 機能のステータスが緑色であっても HostPrep FeatureUnhealthy イベントが終了しません。
- **New:** AWS アクセス キーの検証に失敗し、ユーザーはリージョンへのアクセスが制限されます。

- **New:** vRealize Network Insight は NSX-V から NSX-T への移動後、フローを正しく処理しません。

2 台の仮想マシン間のフローを検索すると結果が表示されませんが、仮想マシンの IP アドレス間で検索すると、フローの結果が表示されます。

- **New:** Dell 製スイッチでバージョン 9.14.2.0 を実行している場合、vRealize Network Insight で構成情報を収集するために `show interfaces` コマンドを実行するとクラッシュします。

Dell 製スイッチでバージョン 9.14.2.0 を実行している場合はデータ収集を無効にし、9.14.2.1 にアップグレードしてからデータ収集を再開します。

- **New:** AWS VPC ログをソースから 20 分の遅延で公開すると、AWS フロー データがしきい値ダッシュボードに表示されないことがあります。
- **New:** フローベースのしきい値設定アプリケーションで、異なるアプリケーションの階層間にメンバー（IP エンドポイント、仮想マシン、または Kubernetes エンティティ）の重複がある場合、他のアプリケーションの階層がそのしきい値設定のダッシュボードに表示されます。
- **New:** 違反領域がプレビュー スケール ウィンドウの外側にある場合、しきい値ダッシュボードに表示されないことがあります。
- **New:** アプリケーションに Kubernetes エンティティが含まれている場合、送信元アプリケーションフィルタまたは宛先アプリケーション フィルタを使用していると、フロー の範囲のしきい値についてはフロー データが表示されません。

フロー として範囲を選択して、次のクエリを使用します。

範囲クエリ	集約タイプ
フロー タイプ = 'Internet'、汎用送信元アプリケーション = 'abc'	送信元階層
フロー タイプ = 'Internet'、汎用宛先アプリケーション = 'abc'	ターゲット階層
汎用送信元アプリケーション = 'abc'	送信元階層
汎用宛先アプリケーション = 'abc'	ターゲット階層
アプリケーション = 'abc'	送信元/ターゲット階層

- **New:** クラスタ展開の一部のプラットフォーム ノードで LDAP または vIDM 構成への変更（新規作成または更新）が反映されず、その結果、ログインが失敗することがあります。

この問題を修正するには、Platform1 から次のコマンドを実行します。

```
ubuntu@platform1:~$ ./run_all.sh sudo service restapilayer-service stop
```

```
ubuntu@platform1:~$ ./run_all.sh sudo service restapilayer-service start
```

- **New:** VeloCloud Enterprise ダッシュボード、または [SD-WAN の展開] ウィジェットを含むいずれかのピンボードをエクスポートすると、空白の PDF が表示されます。しかし、[SD-WAN の展開] ウィジェット以外の任意のウィジェットを選択すると、PDF を生成できます。
- vRealize Network Insight は、以下のスイッチの追加を hmac-sha1-96、hmac-sha1、hmac-md5-96、hmac-md5 の各 SSH 認証モードのみでサポートします。
 - Nexus 5000
 - Dell Z9100、Dell OS10、Dell Force10 S6000
 - Cisco ASA、Cisco ASR/ISR
 - Catalyst 4500
 - Arista
 - Huawei
 - Brocade MLX シリーズ
- vRealize Network Insight は Check Point データ ソースのルート情報を収集しないため、仮想マシンパスの詳細は失われます。
- コレクタをバージョン 4.2 からアップグレードしていると、VMware SD-WAN フローの処理が自動でトリガされません。

VMware SD-WAN フローの送信前に、同じコレクタに vCenter Server を追加します。

注: vCenter Server は後で削除できます。

- ファセット フィルタが英語以外の言語で機能しません。
- アプリケーションを削除しても、そのアプリケーションの保護ステータスがマップ ビューに表示されます。
- NSX-T で IPFIX を再度有効にすると、ファイアウォール IPFIX プロファイルが作成されません。
- vRealize Network Insight で Kubernetes ノードを検索すると、検索結果にネイティブ Kubernetes クラスタのプライマリ ノード リストは表示されますが、VMware PKS のプライマリ ノード リストは表示されません。

- 名前に ASCII 以外の文字が含まれているピンボードをエクスポートする際に、vRealize Network Insight の [PDF へのエクスポート] ウィンドウにファイル名が正しく表示されません。
- クエリ結果にフィルタを追加すると、フィルタに表示される数が近似値になります。
- ネイティブ Kubernetes クラスターで固定サービス アカウント トークンを含まない kubeconfig が使用されている場合は、Kubernetes データソースの追加に失敗します。

VMware サポートにお問い合わせください。

- **[自分の環境設定]** からホーム画面を設定した場合は、ページを更新して、ユーザー インターフェイスにこの情報を反映させる必要があります。
- Cisco ASA データ ソースを追加する際、サポートの連絡先へのメッセージが次のエラーとともに表示されます。

メッセージに必須フィールドが含まれていません: vendorId (Message missing required fields: vendorId)

- 論理サブネットまたは論理ルーターを作成すると、この要求を処理するために、新しい Edge 仮想マシンが動的に作成されます。この種類の仮想マシンのイベントが表示されます。
- 過去 2 日間の [セキュリティのプラン] ページをロードするのに、約 3 分かかります。コレクタ間でデータ ソースを移行してから約 24 時間の間は、クエリ実行中の応答時間が長くなります。これは、24 時間の間に 2 つの異なるコレクタから同じフローが報告、オープン、およびクローズされるためです。これにより、同じフローに対して複数のバージョンが作成されます。
- 複数の NSX Manager がデータソースとして追加されているときに、選択した範囲が NSX またはアプリケーションでネストされたセキュリティ グループである場合は、[PCI コンプライアンス] ダッシュボードのファイアウォール ルール セクションにルールが正しく表示されないことがあります。
- データセンターが最上位でなく、vCenter Server のフォルダ内に配置されている場合は、「**ホスト ネットワーク制御プレーンの不一致**」などの一部のイベントが発生しません。
- イベント検索用のリスト ビューには、選択した際にファセット数が不正確になることがあり、イベントが表示されなくなるという問題があります。
- プラントポロジ ウィジェットには、すべてのフロー、保護されたすべてのフローなどを選択するためのオプションがあります。**[すべてのフロー]** オプションが選択されている場合、Distributed Switch でキャプチャされたフローのみが表示され、NSX IPFIX でキャプチャされたフローは表示されません。これらのフローの保護ステータスは、保護または保護解除として分類されず、不明として分類されるためです。

- PCI ダッシュボードの [PDF へのエクスポート] 機能には、次の既知の問題があります。
 - NetFlow フロー図ダッシュボードで行った変更は、PDF に表示されません。
 - ウィジェットによっては、PDF としてエクスポートされるプロパティの数が、そのウィジェットで選択されたプロパティの数よりも多くなることがあります。
 - ASCII 以外の文字が PDF に正しくエクスポートされません。この問題を回避するには、vRealize Network Insight サーバで `sudo apt-get install fonts-wqy-zenhei` コマンドを実行して、追加フォントをインストールします。
 - メトリック プロパティが PDF にエクスポートされません。
- NSX IPFIX からリバース パケットが報告されるため、特定の NSX IPFIX フローに不要なデフォルト ルールが適用されます。リバース パケットの状態になると、クライアントおよびサーバが反転し、反転した送信元と宛先の IP アドレスに従ってファイアウォール ルールが適用されます。
- 自動更新が一時停止になっている場合でも、自動更新カウンタが再起動され、誤ったデータが表示されたままになります。
- 仮想マシンにファイアウォール ルールがない場合は、VMware Cloud on AWS の仮想マシンにはデフォルトの接続方法が適用されます。

この場合、VMware Cloud on AWS SDDC のデフォルト ルールの認識に関する十分な情報が得られないため、ファイアウォール アイコンが VMware Cloud on AWS 側の仮想マシン間パスに表示されません。